

授業科目名	労働法Ⅰ	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	労働法の全体像、労働契約法を学ぶ		担当者	坪 義生		
講義概要	<p>【概要】「労働法」という名称の法律はありません。労働基準法や労働組合法など、雇用されて働く者(労働者)に関わる法律を総称して労働法と呼んでいます。</p> <p>本講では、労働法の全体像とともに、労働契約関係における適用場面を通して基礎理論と判例解釈を学びます。あわせて、実務家(社会保険労務士)の立場から実務の一端について講じ、労働法の理解の一助としていきます。将来、サラリーマンやOLになったときだけでなく、現在アルバイトとして働く諸君も自分自身を守るために役立つことでしょう。</p> <p>【到達目標】労働契約の締結から終了までに発生する多様な問題に対し、法的な観点、解決方法を考察する能力を身につけます。また、労働法を通して社会や仕事に関心を深めます。</p>					
履修条件	「労働法Ⅱ」とあわせて労働法全体の講義内容となりますので、原則として一方のみの履修は認めません。					
教科書・参考書	<p>【教科書】森戸英幸『プレップ労働法』弘文堂</p> <p>【参考書】菅野和夫, 西谷敏, 荒木尚志『労働判例百選第7版』有斐閣 坪義生『管理者のための労務管理のしくみと実務マニュアル』三修社</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス					
2	労働法とは					
3	労働法の基本概念(労働者、使用者、労働組合)					
4	労働法の法源Ⅰ(労働契約、労働法規)					
5	労働法の法源Ⅱ(判例法理、就業規則)					
6	労働法の法源Ⅲ(労働協約、労使慣行、労使協定)					
7	採用、採用内定、試用期間					
8	人事異動Ⅰ(配置転換)					
9	人事異動Ⅱ(出向・転籍)					
10	懲戒Ⅰ(懲戒処分の有効要件、種類)					
11	懲戒Ⅱ(懲戒事由)					
12	労働契約の終了Ⅰ(解雇)					
13	労働契約の終了Ⅱ(有期労働契約の期間満了、その他の契約終了事由等)					
14	労働条件の変更					
15	非正社員の労働契約					
評価方法	原則として、毎回、前回の講義内容について小テストを実施し、その結果に授業態度を加味して評価する。小テストの提出率が50%に満たない場合は評価の対象外とする。					
評価基準	上記授業単元の内容について、概略を理解した者は「C」、その背景や理由等も理解した者は「B」、さらに、主要な学説や判例を理解し、自己の見解を適切に表現できた者は「A」とする。単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	<p>期末試験は実施しない。</p> <p>※Eカリキュラム(経営法コース)の学生は選択必修科目</p>					